



地元の人たちが取り組んでいる「花いっぱい運動」で、まち全体が花々で彩られている清里地区。四季を通してさまざまな種類の花が楽しめ、5月中旬はアヤマやポピーなどが見頃を迎えます。今回はそんな清里地区1周約3キロのコースを歩いてみましょう。

スタートは清里方面運動場。軟式野球やソフトボール、ゲートボールなどの運動場として市民に親しまれています。休

前橋ウォーカー Maebashi Walker

花のまちにいらっしやい

清里地区



日には、野球に熱中する子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

運動場南側の道を西へ進むと下蟹沢川に着きます。この辺りの畑や道沿いには、色とりどりのアヤマが咲き誇っています。北上して県道南新井・前橋線に出ると、そこはまさに花の街道。道沿いに植えられた花々や閑越自動車道に向かうと見えてくる大きな「花はな花壇」が、行き交う人たちの気持ちを和ませてくれます。

今回紹介した場所以外にもまちの至るところに花が植えられていて、清里市民サービスセンターに掲示してある「花マップ」で見頃の花を調べることが出来ます。個人の敷地に植えられているものも多いので、マナーを守って楽しみましょう。



全国から参加者のあるガラスアートコンクールで、応募した作品「駆動」がグランプリに輝いた。

「まさかグランプリになるとは思っていませんでした。夫や母が続けてきてよかったねと言ってくれ、うれしさがこみ上げてきました」

1枚のガラスに鉛のリード線とフィルムを貼って作るガラスアート。大学で美術史を学んだことから、色彩の豊かさに興味を持った。

「6年前に東京から引っ越してきました。見知らぬ土地で早く仲間を作りたいという思いもあり、教室に通い始めたんです。みんな親切で楽しいですね」

コンクールのテーマはリース。以前から時計などの精密機器の美しさに魅せら

れ、内部の歯車をモチーフにした。躍動感があり、前向きな気持ちを感じられる作品に仕上がっている。

また、バイオリン演奏が趣味で、その形をモチーフにした作品も数多く制作している。

「バイオリンの音色を聴いているとインスピレーションが湧いてくるんです。音楽からヒントをもらっています」

楽しくて、ずっと制作に没頭したいと話す。家族の協力も得ながらもっと制作時間を増やしたいと望んでいる。

「多くの人に作る楽しさを知ってもらいたいです。手軽に出来るので皆さんもガラスアートを始めてみませんか」

その魅力を広く伝えたいと制作にかけ意気込みを笑顔で語ってくれた。

多くの人に作る楽しさを伝えたい



ガラスアートコンクールでグランプリ
久保原 多美子さん 45歳
国領町一丁目



サクラの季節に各地でイベント

ことは例年より遅くサクラが満開になりました。赤城南面千本桜と大胡ぐりんふらわー牧場では、開花に併せたイベントを開催。また、広瀬川の朔太郎橋でもシルクランプ点灯とサクラのライトアップを行いました。訪れた人たちは美しいサクラを眺めながら、春を満喫していました。



黒酢酢豚が第3代グランプリ

4月8日、中央イベント広場で豚肉料理のコンテスト・第3回T-1グランプリの結果発表を行いました。栄えあるグランプリは「厳選地酒と本格焼酎の店 海人」(新前橋町)の「名店仕込の黒酢酢豚」に。決勝進出店による出張販売も行われ、訪れた人は各店のオリジナル料理を楽しみました。

